

令和7年度
学校関係者評価 報告書

学校法人21世紀アカデメイア
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
作成:令和8年 5月 30日

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|---|------|--|---|
| (1)-1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4 | 「学生の未来サポート」を理念とし、プロとして活躍し続けるための業界力（主体力）をつけるための教育を引き続き実施する。 | 特になし。 |
| (1)-2 | 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか | 4 | 業界の動向、社会のニーズ等をつかみ、学校が目指すべき方向性を検討する。 | 特になし。 |
| (1)-3 | 理念・目的・育成人材・特色・将来構造等が学生、関係業界、保護者等に周知がなされているか | 4 | 入学式後等の時間を利用し早期に保護者への教育説明やカリキュラム等の説明を行う。 | 特になし。 |
| (1)-4 | 学科の教育目標、育成人材は、学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | 教職員の研修会の頻度を上げ、教育目標・就職教育目標の設定を統一化する。 | 各学科で業界ニーズのリサーチを行い、本部と価値観を共有した上での教育目標の設定が望まれる。 |

現状・具体的な取り組み等

教育理念、目的、人材育成像は学校教育の重要な柱であり、学習案内、入学式、オリエンテーション、研修会、学園祭等、様々な機会を通じ、学生、教職員、関連企業、保護者に対し周知を図っている。
業界の意向を踏まえたシラバスの策定により、各業界のニーズに合わせた人材育成を行っている。

(2) 学校運営

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|---------------------------|------|--|----------|
| (2)-1 | 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 | 全教職員が学校運営の目的等を認識するために職員会議・研修等を通じて情報を共有する。 | 特になし。 |
| (2)-2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 | 学校計画に基づき、毎年の事業計画を策定。これに基づいた運営を行う。 | 特になし。 |
| (2)-3 | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか | 4 | 学科合同作品展を行い、在校生の作品を企業や一般の方々に見ていただく機会を設ける。 | 特になし。 |
| (2)-4 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 | 教職員の多くが業務過多になっている点は否めない。今後更なる整備や効率化を検討、実施。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

・教育理念に基づき、事業計画を策定、全職員が学校運営の目的を認識するために、会議、研修を通して情報を共有している。
・事務システムの効率化と入学前・在学中・卒業後の情報管理システムの統一をすべく、改修を行っている。

(3) 教育活動

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|--------|---|------|--|---|
| (3)-1 | 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | 全教職員が担当する全授業において「授業計画書」を授業期初に提出している。この計画書に基づいて授業の運営・充実を図る。 | 特になし。 |
| (3)-2 | 教育理念、育成人材や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確か | 4 | 引き続き、カリキュラム等の充実を図る。 | 特になし。 |
| (3)-3 | 学科のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | バランスのとれた授業編成、より実践に沿ったカリキュラムの充実を図る。 | 特になし。 |
| (3)-4 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針の工夫・開発等が実施されているか | 4 | キャリアサポートセンターとの連携を深め、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムに変更できる体制を整える。 | 一般的な職業教育と合わせて、各業界ごとに異なるニーズに基づくカリキュラムとのバランスにも留意するべき。 |
| (3)-5 | 関連分野の企業・関係施設等、業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 3 | 関連分野の企業や業界団体等との連携を強化し、業界で求められる知識を身につけることが出来るカリキュラムの充実を積極的に行う。 | 特になし。 |
| (3)-6 | 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・演習等）が体系的に位置づけられているか | 4 | 今後も企業と連携し、実践的な職業教育が実施できるよう、インターンシップ制度の整備・充実を図る。 | 特になし。 |
| (3)-7 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | 毎回の授業実施内容を記入する「授業報告書」を活用して授業内容の共有を図る。 その内容を授業期毎に実施する講師会議で共有し、担当教員の総括・要望を取りまとめ、授業の質の向上や改善に努める。 | 特になし。 |
| (3)-8 | 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか | 3 | 職業・業界に関連した外部関係者との連携を図り、より実践に近い評価制度を検討する。 | 特になし。 |
| (3)-9 | 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | 引き続き授業内に資格取得のためのカリキュラムを設け、指導を徹底していく。 | 特になし。 |
| (3)-10 | 人材育成目標に向け授業を行う事が出来る要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 関連分野の専門的な知識を習得する授業だけではなく、人間形成を目的とした授業を行うため教職員の確保も検討する。 | 特になし。 |
| (3)-11 | 関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保する等マネジメントが行われているか | 3 | 業界との連携において不可欠な卒業生との良好な関係構築に努め、優れた教員を引き続き確保していく。 | 職員の退職に伴い、卒業生との関係性が途絶えてしまうことへの対策も必要。 |
| (3)-12 | 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成資質向上のための取り組みが行われているか | 3 | 関連分野のトレンドやニーズをつかむため、研修や外部のセミナー等を利用して先端的な知識を収集し、その情報の共有化を図る。 | 特になし。 |
| (3)-13 | 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3 | 毎年教職員に向け、学生指導において有力となる研修を実施。今後も教職員研修の定期実施及び定着を図る。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

- ・各学科、学年で行う会議により、業界で活躍する人材育成のためのカリキュラムを策定。
- ・インターンシップや実習を適切な時期に行えるように、単位表の見直しを図り、就業年限での目標達成を実現。授業評価の実施及び評価体制の一つとして、学生ヘアンケートを実施。問題点には迅速に対応している。
- ・職員の資格取得の機会を設けている。
- ・全学科の教育課程編成委員会の設置を検討。

(4) 学修成果

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|---------------------------------------|------|---|---|
| (4)-1 | 就職率の向上が図られているか | 4 | 1年次の早い段階から自己分析や将来設計のためのプログラムを授業内に取り入れる等、就職に対する意識を高める取り組みを積極的に行う。 | 特になし。 |
| (4)-2 | 資格取得率の向上が図られているか | 4 | 授業内において資格取得に向けたカリキュラムを設ける等、学生の意欲向上を図る。 | 特になし。 |
| (4)-3 | 退学率の低減が図られているか | 4 | 担任との面談、カウンセラーによるカウンセリング、学生アンケート（スチューデントエコー）等により学生の声をヒアリングし、課題を改善する。 | 特になし。 |
| (4)-4 | 卒業生把握しているか在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか | 3 | 卒業生の情報を統括できるような環境づくり(SNSや専用サイト等を活用)。 | 学校公式SNSを通じ、卒業生の活躍をより外部へアピールしていく必要がある。 |
| (4)-5 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3 | 卒業生から意見やアイデアを収集し、授業内容の見直しや充実を図る。 | 学校改善案の通り、卒業生の情報統括・意見集約強化と卒業生団体組織との連携を図る必要がある。 |

現状・具体的な取り組み等

資格取得については、各学科で必要とする資格を定め、カリキュラム等でフォローしている。
 業界で活躍できる人材育成のカリキュラムの中で、担任、キャリアサポーターとセンター担当、留学生サポート担当が連携し、学生の目的達成のためのサポートを行っている。
 卒業生団体組織と連携し、卒業生の縦のつながりを強化する。

(5) 学生支援

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|---------------------------|------|---|----------|
| (5)-1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 学科担当とキャリアサポートセンターが連携し、学生個々の状況に応じた進路・就職の支援を行う。 | 特になし。 |
| (5)-2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 週2日、スクールカウンセラーを配置。 学生が安心して活用できるよう、利用環境の整備を図る。 | 特になし。 |
| (5)-3 | 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | 4 | 入学時の特待生制度、在学中の日本学生支援機構奨学金の説明会がある。学費の分納や日本学生支援機構奨学金の緊急申請についても状況に応じて対応する。 | 特になし。 |
| (5)-4 | 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか | 4 | 年に一度健康診断を実施。必要な場合は適宜サポートを行う。 | 特になし。 |
| (5)-5 | 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | 提携業者による学生寮提供を行っている。学生にとって有意義な寮生活をサポートしていく。 | 特になし。 |
| (5)-6 | 保護者に対し適切に対応しているか | 4 | 学校生活の状況、課題、問題点等は適宜保護者と連絡を取り合い、情報の共有を図る。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

学科担当、キャリアサポートセンター、留学生サポートチームが連携し、学校生活や就職に対して指導、サポートを行っている。
 週2日のカウンセリングルームの設置、事務局から奨学金のお知らせ、学生課による健康診断、寮の状況把握、生活指導を行っている。
 保護者には成績表やお知らせを配布し、連絡体制を整備。

(6) 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|--|------|--|--|
| (6)-1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 | 現在授業を運営していく上では特に問題のない施設・設備は整っている。状況に応じて、施設・設備の充実を図る。 | 既存の設備について、不具合により授業運営に差し障りがあるものについては、修理等迅速に対応する必要がある。 |
| (6)-2 | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | 4 | インターンシップ時の保険を完備。今後もインターンシップ制度を有効活用し、学生の就業体験の機会を増やす。 | 特になし。 |
| (6)-3 | 防災に関する体制は整備されているか | 4 | 耐震の建物のため問題は無し。非常時における3日分の飲食の確保や災害の緊急対応のマニュアルを作成し全教職員で共有する。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新しい機材・ソフトが次々出てくる業界なので、将来性を考えた適切な投資をしていく。 ・業界でのアルバイト、インターンシップは、学生の希望や目標に沿った現場を紹介している。 ・建物は耐震。3日分の飲食等の防災用品を完備し、防災マニュアルを出席簿に添付し周知している。 |
|--|

(7) 生徒募集

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|--------------------------------------|------|--|--|
| (7)-1 | 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか | 4 | 高等学校からの学校見学の依頼等は積極的に対応する。 | 特になし。 |
| (7)-2 | 生徒募集活動は、適正に行われているか | 4 | 来校したくなる「魅力ある学科」とするため、体験レッスンの内容の見直し・充実。来校した学生の進路をしっかりとアドバイス・サポートする。学生の声に耳を傾ける「ヒアリング」能力の向上を図る。 | 来校者を増やすためには不特定多数に対するアプローチだけではなく、当校への進学実績を持つ高校への訪問などで高校の進路指導教諭との信頼関係を築く必要がある。 |
| (7)-3 | 生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4 | 学校案内資料や学内掲示板等を活用して就職状況等の情報の公開を行う。 | 特になし。 |
| (7)-4 | 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか | 4 | 総合型選抜（AO）を取り入れており、多くの学生がアドミッションポリシーに沿って事前に面接等で人物評価を行っている。今後はAO特待生制度の充実を図る。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

| |
|--|
| <p>高関与をテーマに、入学検討者の声に耳を傾けている。内定・就職4企業の求人等の情報は、正確な情報開示に努めている。高校からの学校見学等の依頼は積極的に対応し、学園での就職イベントでは、接続機関向けのガイダンスの実施で、情報提供を行っている。</p> |
|--|

(8)財務

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|--------------------------|------|--|----------|
| (8)-1 | 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか | 4 | 入学者の安定確保が財務基盤の安定には不可欠であり、全教職員で同じ意識をもって取り組んでいる。また収支予算の予測、支出状況の把握に努め、バランスのとれた収支状況の実現に向け取り組む。 | 特になし。 |
| (8)-2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | 毎年学校の予算計画を策定し、健全な運営を行う。 | 特になし。 |
| (8)-3 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | 特になし。 | 特になし。 |
| (8)-4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | 特になし。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

入学者の安定確保が財務基盤において不可欠であり、全職員で同じ意識で取り組んでいる。また収支予算の予測、支出状況の把握につとめ、バランスの取れた収支状況の実現に努めている。学園での業務監査を実施し、迅速な問題改善を実施。財務状況をホームページで開示する。

(9)法令等の遵守

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|-------|-------------------------------|------|-----------------------------------|----------|
| (9)-1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 法令及び専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行う。 | 特になし。 |
| (9)-2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | 教職員及び学生の個人情報の取り扱いには細心の注意を払い適正に管理。 | 特になし。 |
| (9)-3 | 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 4 | 定期的に評価委員会を実施。 | 特になし。 |
| (9)-4 | 自己評価結果を公開しているか | 4 | 評価委員会での会議を通じて、随時公開。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

法令及び専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っている。情報管理については、教職員及び学生の個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、適正に管理している。また学園の業務監査でも厳しくチェックしている。

(10) 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|--------|--|------|---|----------|
| (10)-1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3 | 地域の依頼により、スタジオを貸し出し。今後も継続して地域貢献活動を行っていく。 | 特になし。 |
| (10)-2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | 現在参加している「千代田区一斉清掃」等、今後も学生のボランティア活動を奨励、支援する。 | 特になし。 |
| (10)-3 | 地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか | 2 | 学内の施設、設備等を活用した公開講座は過去に実績はあるが、継続して行っていない。今後定期的実施に向け検討する。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

「千代田区一斉清掃」「山王祭」「日本テレビ通り納涼盆踊り大会」等のボランティア活動の奨励・参加、スタジオの貸し出し等で、地域・社会に貢献。

公開講座、職業訓練の実施については、地域にとってのニーズも含め、今後の課題として取り組む。

(11) 国際交流

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| No. | 評価項目 | 自己評価 | 学校改善案 | 評価委員会の意見 |
|--------|----------------------------------|------|--|----------|
| (11)-1 | 留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか | 4 | 本部の留学生マーケティングを行っているチームと本校の留学生担当者が定期的なミーティングを行い、日本語学校訪問やガイダンス等を実施する。国外から出願する学生への対応強化。 | 特になし。 |
| (11)-2 | 受け入れ、派遣等において適切な手続き等が取られているか | 4 | 本校の留学生担当者が担任・事務局職員と連携し、適切な手続きを行う。 | 特になし。 |
| (11)-3 | 学習効果が国内外で評価される取組を行っているか | 3 | 学生作品は成果の発信（専用サイトや現地のサイトへの掲載を検討）。 | 特になし。 |
| (11)-4 | 学内での適切な体制が整備されているか | 4 | 留学生を対象にした日本語力向上のためのゼミナールを実施。や日本語教員とのマンツーマンレッスンを開催している。 | 特になし。 |

現状・具体的な取り組み等

国際部と学内留学生担当の連携により戦略策定を実施。海外大学との提携を行い、単位交換を計画している。留学生との個別の対応で、手続きを間違いのないように行っている。卒業生の活躍について、WEBを活用し出身地での認知度アップを計る。